



資料 令和4年度 松川高校の重点的教育活動の取り組み（4月～11月）

今年度の重点目標5項目（①～⑤）に関する今年度の具体的な取り組みを、各項目につき数点示しました。

学力の向上・授業の充実に関する重点目標（中長期的目標）：

自立的規範意識を身に付けさせ、確かな学力を養うとともに、豊かな心で総合的な生活力を持った生徒を育成する。

①生徒が個人として尊重される、安心・安全で活力ある学校生活を保障する に関わる取り組みとして

I：陸上部は北信越高校総体、新人戦北信越大会出場。野球部、弓道部等も県大会に出場し、多くの体育系クラブが活躍しました。一方、文化部では、ボランティア部が、東北に花を送る活動と共に、毎月「満蒙開拓平和記念館」で高校生展示ガイドをしたり、松川町内で子ども食堂の活動支援を行ったりしています。演劇部は今年も下伊那の大会で代表に選出され県大会に出場しました。これら以外の文化部も、吹奏楽部、書道部、美術部など、地域との交流を積極的に行い活動しています。また、生徒会では、松川町内の保育所に花を届ける活動を行うとともに、生徒自ら制定した「スマホルール」の見直しも含め、全校ディスカッションを行うなど、精力的な活動を行いました。また、松川町内の商店街活性化に向けた取り組みの検討も始めています。

II：災害や列車の運行変更等の緊急連絡を生徒・保護者へ届けるために「安否確認・連絡網システム オクレンジャー」を運用しました。また、統合型校務支援システムにより、職員間の密な連携・確実かつ迅速な情報の共有化を図っています。

②基礎学力の定着と、探究的学力の伸長を図る授業づくりをすすめる に関わる取り組みとして

I：入学時より、英語ではマナトレを導入し、小中学校でつまづいた部分を「学び直し」することによって基礎学力の定着を図っています。また、「基礎力診断テスト」を実施することで、進学者の学力向上はもちろん、就職希望者にも基礎学力の重要性について意識を高めることができました。さらに、各教科でキャリア教育の視点を意識した授業改革に努めたり、総合的な探究の時間やロングホームルームを利用してよりよい進路実現に向けて学習や説明会等を行いました。今後、1学年キャリアデーのまとめとして「総合的な探究の時間」でゲーグルスライドを使用した発表を実施予定です。更に、3年生の就職・進学者に対しては、試験前には受験対策、進路決定者には卒業後の学力保障のための個別補習を実施しています。

II：3年課題探究エリア「環境緑化」では、地元の農家の方の協力のもと、穀物（ジャガイモ、トウモロコシ、サツマイモ、落花生、そば）と野菜（トマト、ナス、カボチャ、ピーマン、大根、白菜、小松菜、オクラ、ほうれん草）を栽培・収穫し調理しました。食育という観点から、作物を育てることの面白さや難しさを通して、食に対する意識が向上しました。また、校門前の花壇作りを行い、学校の環境緑化に貢献することができました。1月には収穫したそばを使って“そば打ち”を行う予定です。

III：3年課題探究エリア「食文化」では、調理実習実施にコロナ対応による制限の中で、実施方法を工夫して学習内容の充実を図っています。2年課題探究エリア必修「人文社会研究」では、まず松川町や長野県の歴史や自然、産業、文化を担当が講義し、その後はパソコンを用い個人で課題を設定し、情報を収集・分析、まとめて発表をする探究学習を繰り返しています。発信方法についてはパワーポイントを中心に用い、協働力や課題解決能力、表現力を養った。今後は47都道府県のうち1つを選び、その魅力と課題について情報を収集し、発表しようと考えています。同じく2年課題探究エリア必修「キャリア探究」では、様々な媒体を通じた情報の収集・分析・発信を繰り返すことで情報活用能力を養うとともに、コンセンサスゲームを通してコミュニケーション能力の向上を図ることで、これからの時代を生きる社会人として資質・能力の涵養を目指しています。今後は、より具体的なキャリアを念頭においた探究活動を進め、1年間のまとめとなる発表を行う予定です。

IV：ビジネス計算検定、簿記検定、ワープロ検定、情報処理検定、英語検定、漢字検定などの資格取得に多くの合格者を出すことができました。「食文化」では、家庭科食物調理技術検定4級を実施しました。

V：9月に「匿名性を担保した授業中間評価アンケート（生徒・職員）」を実施しました。各授業の評価と生徒自身の授業に対する取り組みについて全校生徒対象に実施し、授業担当者は授業を振り返る機会とし、教科会等で授業改善について検討し、改善に努めるとともに、生徒も自分の授業への取り組みを見つめ直す機会としています。

③生徒の個性と能力を伸長させるキャリア教育と進路指導を実践する に関わる取り組みとして

I：各学年で進路ガイダンスを実施し、3学年は進路実現に向けた実践力を養成し、1・2学年は自らの進路を考える機会を提供しました。

II：1学年は進路別に大学・専門学校あるいは地元企業を見学し、2学年は進路ガイダンスを行い、今後の進路選択・進路実現のための考察の機会を提供しました。

III：学力向上に向けて、休業中や朝・放課後の補習授業や個別指導及び模擬試験を計画、実施しました。

IV：各学年の進路ガイダンスにおいて、外部講師による生徒向け講習を実施し、将来の職業選択についての理解・関心を深めるとともに、職業観や人生設計を考察する機会を提供しました。

V：3学年の進路指導に関しては、ハローワークはじめ各種行政機関、各種進路指導外郭団体と連携し、生徒一人ひとりに対する細心かつ綿密な指導を展開してきました。

④生徒の主体的な活動を支え、自己肯定感を高め、生きる力を育む に関わる取り組みとして

I：生徒会では3年前に作成した「松高スマホルール3か条」を引き継ぎ活動してきました。全校ディスカッションについては、近年他校でも議論されている「ミスコン」や生徒にとって身近な「スマホルール」をテーマに話し合いました。「スマホルール」については、自分たちの現状や課題点、今後どうすれば生徒にとってよい学校となっていくか、といった話題について話し合い、生徒会活動を全校で考えるきっかけとなったと同時に、スマホルールを振り返るきっかけにもなりました。また、各委員会活動も、松川高生が自分たちでよりよい学校生活を送るために、考え実行できるようにしていきたいと考えています。

Ⅱ：今年度も昨年度に引き続き、①松川町役場に花を植える活動 ②松川町の保育園に花を届ける活動 ③松川高校に花を植える活動の3点を実施することができました。多くの方のご協力をいただきながら、松川町内を中心に、花を通じて様々な方と交流することができました。来年度も引き続き、松川町を花で溢れさせるような活動を軸にし、主体的な活動にしたいと考えています。

Ⅲ：文化祭は予定通り7月1、2、3日に実施しました。感染症のリスクを考慮し、本年度も一般公開を中止に致しましたが、文化部の発表をより多くの人に鑑賞してもらうために、参観希望の保護者に限って文化部の発表時に校内への入場可の措置をとりました。雨天のため延期となった打ち上げ花火についても、10月27日に実施致しました。文化祭のイベントは主に体育館の中で実施したが、入退場時の手指消毒の徹底と定期的な換気、冷房完備の教室をリモート会場や休憩室として活用し、感染症・熱中症対策を講じました。準備から本番に至るまで、生徒達は様々な障壁に対してあらゆる手立てを考え、実行し、解決していくことで、休校などのアクシデントにめげずに無事やり遂げることができました。この課題解決の経験を通して「生きる力」を身につけることができたと考えています。

Ⅳ：1学期の「全校憲法学習」では、1、2年生は成人年齢が18歳に引き下げられたことによって変更される義務について学び、3年生は憲法に保障されている労働者の権利について学びました。また、2学期の「人権学習」では、聴覚障がい者の表現手段として用いられる手話について実際に体験し、障がい者理解を深めました。「平和学習」では、ロシアのウクライナ侵攻を学ぶ予定です。

Ⅴ：「中学生の体験入学」(7/28木)では、生徒会役員が全体会進行をはじめとして、例年のように準備・受付・案内を行うとともに、パワーポイントを使って学校生活の説明を行いました。また、各エリア代表の3年生4名がエリアの説明と進路学習の体験談を発表してもらい、本校の魅力が伝わるよう生徒会が中心となり活躍する姿が見られました。参加した中学生からは、「生徒が中心となって高校生活をわかりやすく説明してくれた。」とのアンケート回答が多数寄せられました。

Ⅵ：職員によるJR乗車指導・駅におけるマナー指導、文化祭準備期間および後夜祭後の下校指導を実施しました。

⑤地域に開かれた学校づくりを進め、社会に貢献できる生徒を育成する に関わる取り組みとして

Ⅰ：本校ホームページにおいて、「フルーツバスケットミニ」(学校生活ニュース)を発行し、学校行事や生徒の日々の活躍の姿を生きた情報として発信した。また、中学生向けに「フルーツバスケット」(活動インフォメーション)を年3回発行し、近隣の地域へも配布した。「学校要覧」の内容充実を図るなど開かれた学校づくりにつとめた。

Ⅱ：環境整備事業を6月25日(土)に保護者40人・生徒30人・教職員20人の参加で実施し、文化祭に向け学校を綺麗にすることができました。今年も新型コロナウイルスの影響で多くの事業を実施することができませんでしたが、保護者の方には多くの関心をよせていただいたのではないかと思います。6月には4地区でPTAブロック別懇談会を開催しました。

Ⅲ：【生徒会】昨年度に引き続き、松川町の全保育園へ花を植えたプランターを届ける活動を行った。全ての保育園ではないが生徒会役員と保育園児との交流の時間を取ることができました。また、例年行っている松川町役場花壇の花植え作業は、生徒会役員を中心に実施することができました。

【ボランティア部】11年目となる東北支援継続活動「花という笑顔を東北へ」は、松川町民の皆様の協力を得ながら今年度も実施し、東北各地へペチュニアなどの苗を送付した。また、町内の小中学校、役場、公民館、社協などで町民の方々と一緒に苗を植えることができました。

「満蒙開拓平和記念館」ではコロナ禍での制限を受けつつ、高校生展示ガイドのための活動を継続しました。またその活動は、地域の方々にも注目されています。

その他の活動として、松川町内のりんご農家へのボランティアや「子ども食堂Hug」での学習支援やフードドライブボランティア、高森町で行われた「平和の種プロジェクト」への参加、令和4年8月大雨災害義援金の募金活動を行いました。

【野球部】9月21日(水)松川町大島保育園の運動会を前に、1・2年生男子部員が園庭整備に協力しました。

【吹奏楽部】地元の音楽祭に出演するため準備を進めたが、コロナの影響で音楽祭が中止となってしまいました。来年度はぜひ参加できるようにしたいと思います。

Ⅳ：年度当初4月・6月・9月・12月に予定した「授業公開」が、新型コロナウイルス感染拡大の影響で4月の公開を取りやめ、年3回の公開となりました。そのうち12/1は、中学3年生とその保護者・中学校教職員対象の「進路相談会」として実施し、授業参観・入学者選抜の説明・部活動見学等で、志望校決定に際して本校をさらに知っていただく機会としました。

Ⅴ：県立高校全校で実施している「匿名性を担保した学校評価」では、生徒・保護者・学校評議員・職員を対象にアンケートを実施しました。これらの結果を基に学校評価および次年度の学校目標の設定を行っていく。アンケートについてはSNS(オクレンジャー)やグーグルクラスルームを利用し、スマートフォン・タブレット等で回答できるようにし、多くの方々に答えていただけるように努力しています。